

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	01	部名	総務部	部長名	廣瀬 英男
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◎次の施策の取り組みを進めます。</p> <p><市民と市の情報共有の推進></p> <p>○広報・広聴活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あびことホームページ等による行政施策の情報提供を、迅速かつ確に行っていきます。 ・市政への手紙やメール、eモニター、市政ふれあい懇談会などを通じ市民の声を市政に反映させます。 ・若い世代の定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。 <p>○情報公開の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開制度に基づき、市政に関する情報を適切かつ積極的に公開します。 ・ファイリングシステムの維持管理を徹底し、文書の適正な管理に努めます。 <p><行政改革の推進></p> <p>○地方分権に対応した機能的な組織運営と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方分権に対応した人材育成を図るため、中間管理職の育成を含む研修制度や人事評価の活用を積極的に進め、国や県等との人材交流や人材派遣を実施します。また、市の将来像を見据えた組織体制の検討を始めます。 ・人件費の抑制、特にラスパイレ指数を国並みに下げる取り組みを進めます。 <p>○公民連携の推進と事業見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適した質の高いサービスを提供していけるよう、提案型公共サービス民営化制度を活用しながら、事業の民営化や委託化を進めます。 ・事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ根本から事務事業の見直しを行います。 <p>○公有財産の有効活用と適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設保全台帳システム等を活用し、適正な財産管理に努めます。 <p>○情報通信技術の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電算システムの適切な運用により、さらなる市民サービスの向上、事務の効率化、コストの縮減、セキュリティの強化に努めます。 <p>○その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めます。 <p><男女が共に参画する社会の形成></p> <p>○男女共同参画社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度からスタートする「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画の趣旨が一層理解されるよう事業を進めます。 <p><市制50周年記念事業の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2020年に実施する市制50周年記念事業を通してふるさと我孫子への誇りと愛着を醸成していきます。 				<p>・人事評価制度の活用を行うとともに、研修計画に沿った階層別の研修をはじめ各種研修の実施や千葉県などへの派遣研修により、効果的な人材育成に努めた。</p> <p>・定員管理適正化計画を着実に実施し、人権費の抑制に努めた。</p> <p>・行政改革推進プランに基づき、提案型公共サービス民営化制度による事業提案の募集を行った。また、行政改革推進委員会による事業仕分けを行うなど行政のスリム化に努めた。</p> <p>・契約業務については、制度を適正に運用することができた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね予定どおり執行できた。</p> <p>■市民と市の情報共有の推進については、広報あびこやホームページ、eモニターなどを通じ行政施策の情報提供に努め、市内5か所で春と秋に行っているふれあい懇談会では、直接市民の生の声を聴き、行政運営に反映することができた。</p> <p>■行政改革の推進については、行政改革推進プランに沿って、各事務事業の見直しや提案型公共サービス民営化制度による募集を行い、民営化の件を進めた。また、各種研修をはじめ、国や県との人事交流や東保への復興派遣を通じて人材育成に努め、定員管理適正化計画を着実に実行し、人件費の抑制に努めた。情報通信技術の有効活用は、電算システム包括委託による業務効率化とセキュリティの強化に努めた。</p> <p>■男女が共に参画する社会の形成については、男女共同参画プラン実施計画に基づき、事業の推進に努めた。</p> <p>■市制50周年記念事業の実施については、市制50周年記念年賀はがきを発行し、ふるさと我孫子への誇りと愛着の醸成に努めた。</p>	

課コード	01	課名	総務課	課長名	山田 和夫
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>■基本構想の第三次基本計画を着実に推進できる組織体制を整備していきます。</p> <p>■行政改革推進プランに基づき、事業仕分け、提案型公共サービス民営化制度や組織見直しを着実に実行し、行政の効率化を進めます。</p> <p>■ラスパイレ指数を下げるため、給与水準の抑制に努めるとともに、定員管理適正化計画の確実な実行により、人件費総額の抑制を図ります。</p> <p>■人事評価制度を中心とする人事管理、研修や職場環境整備を柱に、総合的・効果的に人材育成を進めます。</p> <p>■会計年度任用職員制度を平成32年度に導入するため制度設計を行い、関係規則・条例の制定を進めます。</p> <p>■契約制度を適切に運用し、契約の適正化に努めます。公契約条例の運用については、公契約審議会での議論を十分反映し、厳格に運用していきます。</p>				<p>概ね所期の目標を達成できた。</p> <p>・行政改革推進プランに基づき、提案型公共サービス民営化制度による事業提案の募集を行った。また、行政改革推進委員会による事業仕分けを行うなど行政のスリム化に努めた。</p> <p>・定員管理適正化計画を着実に実施し、人権費の抑制に努めた。</p> <p>・人事評価制度の活用を行うとともに、研修計画に沿った階層別の研修をはじめ各種研修の実施や千葉県などへの派遣研修により、効果的な人材育成に努めた。</p> <p>・会計年度任用職員制度に係る条例等を予定どおり制定し、翌年度に向け任用手続きを行うことができた。</p> <p>・契約業務については、制度を適正に運用することができた。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>厳しい財政状況の中でスリムで効率的な市役所を実現するためには、少数精鋭による業務執行体制の確立、給与水準の適正化、職員の資質向上、組織・事務事業の見直しは避けることができない。そのためには、全職員で危機感を共有することが必須であり、総務課が先導的役割を担い、職員の意識改革に取り組んでいく。</p>					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業											
事務事業名(個別事業)		重 重 重 重 重 重 重 重 重 重	策 策 策 策 策 策 策 策 策 策	指標		単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	現 現 現 現 現 現 現 現 現 現	目 目 目 目 目 目 目 目 目 目	実 実 実 実 実 実 実 実 実 実	達 達 達 達 達 達 達 達 達 達	評 評 評 評 評 評 評 評 評 評
1	組織編制事務	無	83201	常勤職員数	人	851	854	857	100.35		現状
2	定員管理事務	無	83201	職員削減数	人	0	2	0	0		現状
3	専門・特別研修	無	83201	受講者数	人	1,074	800	1,074	134.25		結合
4	派遣研修	無	83201	研修受講者数	人	102	130	102	78.46		結合
5	階層別研修	無	83201	全受講生の理解度の平均値	%	85	90	85	94.44		結合
6	人事評価の実施	無	83201	苦情相談窓口への相談件数	件	0	0	0	0		現状
7	公務災害補償事務	無	00000	認定請求をしたうちの認定された割合	%	100	100	100	100		現状
8	嘱託職員等の任用管理	無	83201	嘱託職員要望に対する充足率	%	100	100	100	100		見直し
9	安全運転管理者等の管理業務	無	00000	事業所職員への安全運転教育等の件数	回	6	6	6	100		現状
10	定期健康診断	無	00000	健康診断等受診率(受診者数/総職員数)	%	55	60	65	108.33		現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11 新規職員採用業務	重無	83201	新規採用職員の人事評価年度評定数の平均値	点	63.6	65	63.3	97.38	現状
12 特殊健康診断	重無	00000	特殊健康診断等受診率(受診者数/有害業務従事職員数)	%	83	100	77	77	現状
13 管理職登用試験制度の実施	重無	83201	資格者名簿登録人数	人	26	28	12	42.86	現状
14 職員の人事異動業務	重無	83201	所属長が適材適所の人材配置が行われたと思う職員の割合	%	70.9	75	73.4	97.87	現状
15 職員団体との交渉	重無	00000	交渉事項の合意率(合意件数/要求件数)	%	24	30	24	80	現状
16 職員被服貸与事務	重無	00000	必要とされる被服の貸与	%	100	100	87	87	現状
17 庁内報発行事務	重無	00000	発行回数	回	2	3	2	66.67	現状
18 職員提案事業	重無	83201	提案採用数(職場内提案含む)	件	19	30	19	63.33	現状
19 提案型公共サービス民営化制度の推進	重無	83202	委託・民営化した事業数	件	1	10	1	10	現状
20 行政改革推進プランの推進	重無	83201	改革項目のうち見直しが実施された件数	項目	16	42	7	16.67	現状
21 千葉県市町村総合事務組合退職者事務	重無	00000	退職事務に係る申請処理割合	%	100	100	100	100	現状
22 千葉県市町村職員共済組合事務	重無	00000	組合員からの届出に伴う共済組合への申告割合	%	100	100	100	100	現状
23 我孫子市職員福利厚生会事業	重無	00000	元気に業務遂行している職員数割合	%	99.4	100	100	100	現状
24 特別職報酬等審議会の開催	重無	00000	審議会の実施率	%	100	100	100	100	現状
25 給与計算事務	重無	00000	総務課の誤りによる支給訂正件数及び業務の完全遂行率	%	100	100	100	100	現状
26 労働安全衛生業務	重無	00000	職員数に対する災害発生件数の割合	%	0.7	0.6	0.53	113.21	現状
27 工事検査	重無	00000	工事件数/工事検査結果通知書発行数	%	100	100	100	100	現状
28 契約業務	重無	00000	入札執行率(入札案件数/入札対象案件数)	%	42	44	42	95.45	現状
29 電子調達システムの運用	重無	83204	電子入札執行率(電子入札件数/取扱件数)	%	56	38	56	147.37	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	01	部名	総務部	部長名	廣瀬 英男
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◎次の施策の取り組みを進めます。</p> <p><市民と市の情報共有の推進></p> <p>○広報・広聴活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あびこホームページ等による行政施策の情報提供を、迅速かつ確に行っていきます。 ・市政への手紙やメール、eモニター、市政ふれあい懇談会などを通じ市民の声を市政に反映させます。 ・若い世代の定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。 <p>○情報公開の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開制度に基づき、市政に関する情報を適切かつ積極的に公開します。 ・ファイリングシステムの維持管理を徹底し、文書の適正な管理に努めます。 <p><行政改革の推進></p> <p>○地方分権に対応した機能的な組織運営と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方分権に対応した人材育成を図るため、中間管理職の育成を含む研修制度や人事評価の活用を積極的に進め、国や県等との人材交流や人材派遣を実施します。また、市の将来像を見据えた組織体制の検討を始めます。 ・人件費の抑制、特にラスパイレ指数を国並みに下げる取り組みを進めます。 <p>○公民連携の推進と事業見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適した質の高いサービスを提供していけるよう、提案型公共サービス民営化制度を活用しながら、事業の民営化や委託化を進めます。 ・事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ根本から事務事業の見直しを行います。 <p>○公有財産の有効活用と適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設保全台帳システム等を活用し、適正な財産管理に努めます。 <p>○情報通信技術の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電算システムの適切な運用により、さらなる市民サービスの向上、事務の効率化、コストの縮減、セキュリティの強化に努めます。 <p>○その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めます。 <p><男女が共に参画する社会の形成></p> <p>○男女共同参画社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度からスタートする「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画の趣旨が一層理解されるよう事業を進めます。 <p><市制50周年記念事業の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2020年に実施する市制50周年記念事業を通してふるさと我孫子への誇りと愛着を醸成していきます。 				<p>概ね予定どおり執行できた。</p> <p>■「広報あびこ」やホームページ等を通じて、行政施策の情報提供に努め、さらに定住化の促進や交流人口の拡大を図るため、あびこの魅力を市内外に発信した。また、年2回、市内5カ所で開催した市政ふれあい懇談会では、市民の声を直接聴き、必要に応じて行政運営に反映させることができた。</p> <p>■男女共同参画社会の実現では、平成31年度から新たにスタートした第3次プランに基づき、事業の推進に努めた。</p> <p>■市制50周年記念事業では、我孫子市オリジナルのお年玉付き年賀はがきを作成し、市民を通じて市外の方へも我孫子の魅力を発信できた。</p> <p>■令和元年10月にオリンピック・パラリンピック・聖火リレー推進担当を設置し、2020年7月4日に本市を通る予定のオリンピック聖火リレーをはじめ、関連事業の推進に努めた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね予定どおり執行できた。</p> <p>■市民と市の情報共有の推進については、広報あびこやホームページ、eモニターなどを通じ行政施策の情報提供に努め、市内5カ所で春と秋に行っているふれあい懇談会では、直接市民の生の声を聴き、行政運営に反映することができた。</p> <p>■行政改革の推進については、行政改革推進プランに沿って、各事務事業の見直しや提案型公共サービス民営化制度による募集を行い、民営化の件を進めた。また、各種研修をはじめ、国や県との人事交流や東保への復興派遣を通じて人材育成に努め、定員管理適正化計画にを着実に実行し、人件費の抑制に努めた。情報通信技術の有効活用は、電算システム包括委託による業務効率化とセキュリティの強化に努めた。</p> <p>■男女が共に参画する社会の形成については、男女共同参画プラン実施計画に基づき、事業の推進に努めた。</p> <p>■市制50周年記念事業の実施については、市制50周年記念年賀はがきを発行し、ふるさと我孫子への誇りと愛着の醸成に努めた。</p>	

課コード	03	課名	秘書広報課	課長名	飯田 秀勝
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>・市民ニーズを的確に把握して市政に反映させるため、市政の手紙やメール、ふれあい懇談会等の広聴活動の充実を図ります。</p> <p>・市民との情報の共有化を進めるため、広報あびこやホームページ、報道機関への記者会見などを通じ情報提供を積極的に行うとともに定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に発信します。また、情報発信の手法についても研究していきます。</p> <p>・市民の意見や要望をリアルタイムに収集し、各事業に反映させるため、わかりやすいアンケート方法の確立や丁寧な回答を行うとともに広報への掲載、各公共施設への募集チラシの設置を徹底して、モニター数の増員を図っていきます。</p> <p>・施策策定の過程における市民の意見反映を進めるため、条例の制定改廃その他基本的施策の策定において、引き続きパブリックコメントを行っていきます。</p> <p>・男女が共に参画する社会の実現に向け平成31年度からスタートする「第三次男女共同参画プラン」に基づき、様々な施策を推進します。また、講演会の開催や情報紙の発行、広報などにより、市民・事業者への啓発を図ります。</p> <p>・教育の条件整備など重点的に講ずべき施策や、児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置などについて、総合教育会議において協議調整するため、教育委員会と連携しながら総合教育会議の運営を着実に進めます。</p> <p>・本市は、2020年度の7月1日に市政施行50周年を迎えるため、式典や記念事業の開催を滞りなく実施できるよう方針の策定や人員体制を整備し、準備を進めていきます。</p>				<p>概ね予定どおり事業を執行できた。</p> <p>■広報やホームページ、定例記者会見等を通して、市民へより分かりやすい行政情報の提供を進めた。また、市政への手紙・メールや市政ふれあい懇談会など、市民の声を広く聴き、市政へ反映されるよう努めた。</p> <p>■男女共同参画社会の実現では、趣旨の理解がより深まるよう、平成31年度から新たにスタートした「男女共同参画プラン(第3次)」に基づき、事業を推進した。</p> <p>■総合教育会議では、平成31年4月から令和5年3月を期間とする「我孫子市教育大綱」に基づき、東京2020大会や聖火リレー、ICT教育の推進、長期欠席・長期不登校の児童・生徒への支援体制などについて、教育委員会と意見交換を図りながら、教育行政を推進した。</p> <p>■令和2年7月1日に迎える市制施行50周年に先立ち、我孫子市オリジナルのお年玉付き年賀はがきを作成し、我孫子の魅力の発信に努めた。</p> <p>■令和元年10月1日に秘書広報課内に「オリンピック・パラリンピック・聖火リレー推進担当」が設置され、2020年7月4日のオリンピック聖火リレーに向けて、東京2020大会組織委員会や千葉県と連携を図りながら準備を進めた。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>秘書担当は主に市長・副市長の日程調整と管理、広聴担当は市政への手紙・メール等、広報担当は広報発行及びホームページの運用等、男女共同参画担当は講演会や情報紙等による啓発活動、あびこの魅力発信担当はテレビやラジオ等を活用した市内外への情報提供等をそれぞれ担っている。これら5担当が相互に連携を図り、市民ニーズを的確に把握し市政に反映させるとともに、市民との情報の共有化を進めていく必要がある。また、市民とりわけ若者世代への情報発信において、SNSを積極的に活用するとともに各職員がより専門的知識・技術を習得する必要がある。</p>					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重づけ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 栄典事務	重無	00000	国・県の表彰基準に該当する者、また、今後候補者となり得る者	件	5	5	6	120	現状	
2 報道機関への情報提供	重無	81101	情報提供件数	件	290	85	290	341.18	現状	
3 パブリックコメント手続	重無	81202	意見公募1件当たりの提出意見数	件	9.9	10	9.9	99	現状	
4 市政ふれあい懇談会	重無	81102	参加人数	人	249	310	249	80.32	現状	
5 市政への手紙・メール	重無	81102	市政へのメール・手紙の受付件数	件	336	500	336	67.2	現状	
6 庁内調整を要する要望・陳情	重無	81102	受付した団体等の延べ件数	件	41	55	41	74.55	現状	
7 非常勤職員の任免に関する事務	重無	00000	適正管理率	%	100	100	100	100	現状	
8 スケジュール管理等秘書事務	重無	00000	市長等の公務の適正執行率	%	100	100	100	100	現状	
9 市議会との連絡調整事務	重無	00000	連絡調整の達成度(連絡調整した数/連絡調整しなければならぬ)	%	100	100	100	100	現状	
10 法律相談	重無	00000	相談者数	人	496	510	496	97.25	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	ホームページの管理・充実	重無	81101	年間ページ更新件数	件	4,244	4,000	9,753,858	43,846.38	現状
12	広報の編集・発行	重無	81101	「広報あびこ」の年間配布部数	部	1,128,000	1,225,000	1,128,000	92.08	現状
13	暮らしの便利帳・ガイドマップの発行	重無	81101	配布数	部	0	57,200	0	0	見直し
14	男女共同参画プラン進行管理業務	重無	42001	男女共同参画実施計画計上事業の実施率	%	92	100	92	92	現状
15	男女共同参画啓発事業の実施	重無	42001	情報紙の発行部数	部	2,000	90,000	2,000	2.22	現状
16	シティプロモーションの推進	重無	81104	シティセールス動画へのアクセス数	回	32,413	35,000	32,413	92.61	現状
17	総合教育会議運営事務	重5	52101	法第1条の4に掲げる協議事項、協議・調整事項の合意率	%	100	100	100	100	現状
18	eモニター制度	重無	81202	モニター登録者数	人	270	300	268	89.33	現状
19	市制施行50周年記念事業	重無	00000	市制施行50周年記念事業への参加率	%	0	70	100	142.86	現状
20	東京オリンピック・パラリンピック・聖火リレー推進事業	重無	43101	オリンピック聖火リレーに向けた準備の進捗状況	%	10	50	30	60	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	01	部名	総務部	部長名	廣瀬 英男
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
◎次の施策の取り組みを進めます。 <市民と市の情報共有の推進> ○広報・広聴活動の充実 ・広報あびことホームページ等による行政施策の情報提供を、迅速かつ確に行っていきます。 ・市政への手紙やメール、eモニター、市政ふれあい懇談会などを通じ市民の声を市政に反映させます。 ・若い世代の定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。 ○情報公開の徹底 ・情報公開制度に基づき、市政に関する情報を適切かつ積極的に公開します。 ・ファイリングシステムの維持管理を徹底し、文書の適正な管理に努めます。 <行政改革の推進> ○地方分権に対応した機能的な組織運営と人材育成 ・地方分権に対応した人材育成を図るため、中間管理職の育成を含む研修制度や人事評価の活用を積極的に進め、国や県等との人材交流や人材派遣を実施します。また、市の将来像を見据えた組織体制の検討を始めます。 ・人件費の抑制、特にラスパイレ指数を国並みに下げる取り組みを進めます。 ○公民連携の推進と事業見直し ・行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していけるよう、提案型公共サービス民営化制度を活用しながら、事業の民営化や委託化を進めます。 ・事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ根本から事務事業の見直しを行います。 ○公有財産の有効活用と適正管理 ・施設保全台帳システム等を活用し、適正な財産管理に努めます。 ○情報通信技術の有効活用 ・電算システムの適切な運用により、さらなる市民サービスの向上、事務の効率化、コストの縮減、セキュリティの強化に努めます。 ○その他の取り組み ・契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めます。 <男女が共に参画する社会の形成> ○男女共同参画社会の実現 ・平成31年度からスタートする「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画の趣旨が一層理解されるよう事業を進めます。 <市制50周年記念事業の実施> ○2020年に実施する市制50周年記念事業を通してふるさと我孫子への誇りと愛着を醸成していきます。				・情報公開制度と個人情報保護制度の適切な運営に努め、情報公開請求及び自己に関する保有個人情報の開示請求を確実に処理し、適正に執行した。 また、全所属を対象にした年2回のファイリング維持点検指導を含め、文書の適正な管理に努めた。	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				概ね予定どおり執行できた。 ■市民と市の情報共有の推進については、広報あびこやホームページ、eモニターなどを通じ行政施策の情報提供に努め、市内5か所で春と秋に行っているふれあい懇談会では、直接市民の生の声を聴き、行政運営に反映することができた。 ■行政改革の推進については、行政改革推進プランに沿って、各事務事業の見直しや提案型公共サービス民営化制度による募集を行い、民営化の件を進めた。また、各種研修をはじめ、国や県との人事交流や東保への復興派遣を通じて人材育成に努め、定員管理適正化計画にを着実に実行し、人件費の抑制に努めた。情報通信技術の有効活用は、電算システム包括委託による業務効率化とセキュリティの強化に努めた。 ■男女が共に参画する社会の形成については、男女共同参画プラン実施計画に基づき、事業の推進に努めた。 ■市制50周年記念事業の実施については、市制50周年記念年賀はがきを発行し、ふるさと我孫子への誇りと愛着の醸成に努めた。	

課コード	04	課名	文書管理課	課長名	磯岡 光夫
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
・情報公開の徹底を図り、市民との情報の共有化を進めるとともに、個人情報の適切な保護に努めます。そのため、ファイリングシステムによる文書管理を徹底します。 ・3月、6月、9月及び12月の定例会並びに臨時会に係る議案を適切に審査の上、適正に上程できるようにします。 ・例規(条例を除く。)の制定改廃手続を適宜適正に処理します。 ・訴訟事務を適切に、かつ、スムーズに進めるための支援を行います。 ・行政事務に係る相談に適宜適切に対応します。 ・行政運営の基本情報となるデータ集計を行うため、基幹統計調査を適確に実施します。				・情報公開請求及び自己に関する保有個人情報の開示請求を確実に処理し、審議会の運営も含め、制度の適切な運用に努めた。 また、文書事務監視委員による年2回のファイリング維持点検指導により適切な文書管理に努めた。	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
継続的に適正文書管理を行うため、職員に対してファイリング基準の周知及び定期的な維持管理点検指導を行う必要があります。					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価	
1 情報公開事務事業	重無	81103	情報公開請求全体に占める適正な情報公開の割合(全請求-審査)	%	100	100	100	100	現状	
2 行政情報資料室の管理・運営	重無	81103	行政情報資料室に備えてある資料冊数/行政情報資料室で備えて	%	100	100	100	100	現状	
3 ファイリングシステム維持管理	重無	81103	全体の課に対する、維持管理点検指導(年2回)における総合評	%	61	57	70	122.81	現状	
4 統計書作成	重無	81103	期限までに取りまとめる。	%	100	100	100	100	現状	
5 例規議案等審査事務	重無	00000	例規等の審査件数に対する制定改廃件数及び公示件数の割合	%	100	100	100	100	現状	
6 個人情報保護事務	重無	00000	個人情報の管理状況についての点検回数	回	2	2	2	100	現状	
7 千葉県毎月常住人口調査、年齢別・町丁字別人口調査	重無	81103	期限までに提出する。	%	100	100	100	100	現状	
8 文書の收受・配布・発送、公印の管理及び印刷業務	重無	00000	受領文書の所管課への配布、対外文書の発送、印刷を誤りなく行	%	100	100	100	100	現状	
9 統計調査員確保対策事業	重無	00000	調査員登録基準数70名に対する登録調査員数は超えているもの	人	132	135	135	100	現状	
10 訴訟事務	重無	00000	訴訟・相談完結率	%	100	100	100	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11 基幹統計調査	重無	81103	県から指定された調査員数を確保し、指定された期日に調査票を	調査	6	6	6	100	現状

